

7 土木費

1 土木管理費 1 土木総務費

[担当：管理課] P.315

2501 道路管理に要する経費 39,095,760 円 (31,312,508 円)

〈5,172,214 円〉 ※ 〈 〉 は、うち4年度繰越分

[地方債 〈4,500,000 円〉 その他 5,089,197 円 〈672,214 円〉 一財 29,506,563 円]

* 特財内訳

[市債：市道整備事業債（排水施設整備事業）〈1,502,214 円×75%≒1,100,000 円〉]

[市債：合併特例債（北浦川橋梁架替負担金）〈3,670,000 円×95%≒3,400,000 円〉]

[寄附金：令和5年6月豪雨被害に係る災害支援寄附金 1,699,000 円]

[使用料：道路使用料 130,000 円]

[使用料：法定外公共物使用料 2,206,859 円]

[手数料：道路幅員証明手数料 1,600 円]

[繰越金：前年度繰越金 〈672,214 円〉]

[諸収入：自動車災害共済金 290,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 89,524 円]

○ 目的

道路法に基づき、道路台帳を調製し保管する。近年のゲリラ豪雨等の突発的な雨に対して、迅速な対応が求められているなか、令和5年6月2日の集中豪雨災害により、双葉地区において甚大な被害が確認されたため、現場状況（浸水（冠水）状況）を素早く把握することを目的としている。

○ 内容

(1) 道路台帳整備委託 13,090,000 円

市道の認定・廃止及び道路改良工事等により、市道に変更が生じた箇所について調書図面を削除し、道路台帳を最新の情報に更新した。

箇所 市内全域

(2) 浸水検知システム構築業務委託 1,699,500 円

双葉地区における道路の浸水状況をリアルタイムで把握するシステムを構築した。

設置箇所 5か所

○ 効果

(1) 道路台帳を最新の状態に更新したことにより、市道の適正な管理ができた。

(2) 浸水状況をリアルタイムで把握し、状況に応じて、職員が道路の通行規制を効率よく対応することが可能な体制を構築できた。

2 道路橋りょう費 2 道路維持費

[担当：管理課] P. 321

2001 道路維持補修に要する経費 423,194,025 円 (502,564,429 円)

〈75,329,823 円〉※〈〉は、うち4年度繰越分

[国・県 55,040,000 円 (44,164,000 円) 地方債 62,100,000 円 (14,000,000 円)

その他 40,310,256 円 (17,165,823 円) 一財 265,743,769 円]

* 特財内訳

[国補：防災・安全交付金（インフラ老朽化対策分）

19,778,000 円×55%≒10,876,000 円]

[国補：防災・安全交付金（インフラ老朽化対策分）(44,164,000 円)]

[市債：市道整備事業債（橋梁長寿命化対策事業）

(55,663,000 円－40,020,000 円) ×90%≒14,000,000 円]

[市債：長寿命化事業債（道路長寿命化対策事業）

31,251,000 円×90%≒28,100,000 円]

[市債：市道整備事業債（排水施設整備事業）12,562,000 円×75%≒9,400,000 円]

[市債：市道整備事業債（エスカレーター整備事業）

14,257,000 円×75%≒10,600,000 円]

[使用料：道路使用料 14,147,140 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 8,956,000 円]

[繰越金：前年度繰越金 (17,165,823 円)]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 41,293 円]

○ 目的

総延長約 1,000 km の市道を安全・快適に利用できるように、道路施設の点検・維持・修繕を行う。また、橋りょうや道路施設の点検を実施し修繕を計画的に行う。

○ 内容

緊急及び部分的な補修については、原材料を購入して職員で対応し、大規模な修繕を要する箇所については専門業者にて対応した。また、街路樹の剪定、道路法面の草刈及び道路の側溝・路面の清掃、取手・藤代各駅のエレベーター、エスカレーターの点検・清掃等については委託にて対応し、点検結果によりエレベーター、エスカレーターの修繕及び工事を実施した。

橋りょう及び横断歩道橋については、長寿命化計画に伴う修繕計画により、取手駅西口デッキ補修工事を行った。

橋りょう定期点検については、31 橋について 2 巡目の点検を実施した。

(単位：円)

施設名	事業費	事業内容
取手駅西口デッキ (市道 0106 号線)	〈55,663,000〉	塗装塗替工 A=197.0 m ² 収縮継手工 L=53.0m

○ 効果

道路の交通安全の確保を図り、住環境の向上に努め、常時良好な状態に保つことができた。

[担当：道路建設課] P.325

2602 道路維持に要する経費(ふれあい道路(市道 0106 号線)) 22,693,000 円(0 円)

[国・県 4,611,000 円 地方債 17,100,000 円 一財 982,000 円]

* 特財内訳

[国補：防災・安全交付金 9,222,000 円×50%=4,611,000 円]

[市債：合併特例債(22,693,000 円-4,611,000 円)×95%≒17,100,000 円]

○ 目的

当該路線は取手・守谷・つくばみらい市を結ぶ広域的な幹線道路であるが、路線全体でクラックやわだち等が発生し、部分補修では対応しきれない状況であることから、円滑な通行を確保するため、整備を実施する。

○ 内容

路線測量委託料 10,692,000 円

道路詳細設計委託料 12,001,000 円

○ 効果

路線測量の成果を基に道路詳細設計を委託し、工事発注のために必要な資料を得ることができた。

2 道路橋りょう費 3 道路改良費

[担当：道路建設課] P.327

20 道路改良に要する経費 269,591,721 円(156,835,568 円)

〈151,523,714 円〉※〈〉は、うち4年度繰越分

[地方債 247,800,000 円〈139,100,000 円〉 その他〈12,423,714 円〉

一財 9,368,007 円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 55,139,013 円×95%≒52,200,000 円]

[市債：合併特例債〈59,620,000 円×95%≒56,600,000 円〉]

[市債：地方道路等整備事業債 62,928,994 円×90%≒56,500,000 円]

[市債：地方道路等整備事業債〈91,859,314 円×90%≒82,500,000 円〉]

[繰越金：前年度繰越金〈12,423,714円〉]

○ 目的

生活に密着した道路を拡幅整備し、緊急車両の通過や交通の利便性を図る。

○ 内容

令和5年度は8路線の事業を実施した。各路線の事業内容等は次のとおりである。

(単位：円)

事業名	事業費	事業内容	
2002 小文間 (市道 5148 号線)	2,200,000	路線測量 L=190m	2,200,000
2005 井野台一丁目 (市道 4115 号線)	6,501,000	路線測量 L=60m 地質調査	2,651,000 3,850,000
2016 井野団地外周道路 (市道 0115 号線他)	90,220,000 〈59,620,000〉	改良工事 L=563m 改良工事 L=314m	90,200,000 〈59,620,000〉
2031 戸頭新屋敷 (市道 2241 号線他)	22,339,013	物件移転補償費	22,339,013
2040 井野台四丁目 (市道 3276 号線他)	〈47,599,014〉	手数料 公有財産購入費 物件移転補償費 通常損失補償費	〈5,000〉 〈9,959,853〉 〈37,594,761〉 〈39,400〉
2042 米ノ井弁才天 (市道 0203 号線)	56,427,994	改良工事 L=220m 公有財産購入費	42,340,000 14,087,994
2081 駒場三丁目 (市道 1483・ 1486 号線)	〈26,451,700〉	改良工事 L=283m 電柱移設補償費	〈23,590,000〉 〈2,861,700〉
2089 桑原 (市道 3100 号線他)	〈17,853,000〉	改良工事 L=104m	〈17,853,000〉

○ 効果

交通の円滑化と安全対策のための生活道路の拡幅改良ができた。

[担当：道路建設課] P.329

25 通学路整備に要する経費 151,209,384円 (38,449,553円)

〈67,687,977円〉 ※ 〈 〉 は、うち4年度繰越分

[国・県 76,708,723円 〈30,771,950円〉 地方債 59,400,000円 〈23,900,000円〉

その他 〈13,016,027円〉 一財 2,084,634円]

* 特財内訳

- [国補：防災・安全交付金 83,521,407 円×55%≒45,936,773 円]
- [国補：防災・安全交付金 〈55,949,000 円×55%=30,771,950 円〉]
- [市債：合併特例債 (83,521,407 円－45,936,773 円) ×95%≒35,500,000 円]
- [市債：合併特例債 〈(55,949,000 円－30,771,950 円) ×95%≒23,900,000 円〉]
- [繰越金：前年度繰越金 〈13,016,027 円〉]

○ 目的

通学路交通安全対策プログラムに基づき、危険路線の対策及び危険箇所を解消を図る。

○ 内容

令和5年度は4路線の事業を実施した。各路線の事業内容等は次のとおりである。

(単位：円)

事業名	事業費	事業内容
2512 山王 (市道 4262 号線他)	〈48,490,977〉	借地料 〈49,977〉 改良工事 L=120m 〈36,752,000〉 安全対策工事 L=63m 暫定工事 L=120m 〈11,689,000〉
2528 東四丁目 (市道 4166 号線他)	43,522,407 〈19,197,000〉	改良工事 L=250m 34,870,000 〈11,838,000〉 電柱移設補償費 1,293,407 測量・詳細設計 L=250m 〈7,359,000〉
2530 桑原 (市道 4042 号線)	39,226,000	改良工事 L=161m 39,226,000
2532 井野台一丁目 (市道 4113 号線他)	19,970,000	改良工事 L=195m 19,970,000

○ 効果

交通安全施設の整備を実施し、生徒の登下校時の安全確保に寄与することができた。

3 都市計画費 1 都市計画総務費

[担当：都市計画課] P.333

0701 分庁舎の管理に要する経費 10,837,511 円 (27,854,307 円)

[その他 5,565,468 円 一財 5,272,043 円]

* 特財内訳

- [繰入金：公共施設整備基金繰入金 4,170,000 円]
- [諸収入：こども発達センター光熱水費等使用料 1,395,468 円]

○ 目的

都市整備部・こども発達センター・青少年センター・防災倉庫の複合施設である分庁

舎の管理を計画的に行うことで、施設の維持保全を図る。

○ 内容

- ・分庁舎非常用階段改修工事 4,587,000 円
- ・その他の経費 6,250,511 円

○ 効果

非常用階段は、分庁舎における災害時の避難経路となっており、改修工事により施設利用者や職員の安全性の確保及び施設の計画的な維持保全が図られた。

[担当：都市計画課] P.335

0801 桑原地区整備推進に要する経費 19,236,000 円 (111,540,000 円)

〈19,135,000 円〉※〈 〉は、うち4年度繰越分

[その他〈19,135,000 円〉 一財 101,000 円]

* 特財内訳

[繰越金：前年度繰越金〈19,135,000 円〉]

○ 目的

桑原地区において組合施行の土地区画整理事業による大規模な商業・業務施設を核とした新市街地を創出し、市の求心力を高めることで、市民生活環境の向上だけでなく、雇用の創出や若者世代の定住化を促進し、まちの活力を高めていくことを目的として、都市計画決定及び土地区画整理事業の事業化に向けた国や県などの関係機関協議を進めるとともに、桑原地区土地区画整理事業準備組合に対する事業化支援を行う。

○ 内容

市街化区域編入等の都市計画決定に向けて、国及び県等との協議を行うとともに、土地区画整理事業の早期事業化を実現するため、準備組合が行う調査設計業務に対して助成を行い、事業化検討や関係機関協議を支援した。また、準備組合の行う会議開催等、運営を支援するとともに、土地区画整理組合の設立に向けた関係権利者の合意形成を支援した。

- ・桑原地区都市計画決定支援業務委託料 10,005,000 円
- ・桑原地区土地区画整理事業補助金 9,231,000 円

○ 効果

市街化区域編入等の都市計画決定に向けた関係機関協議を進めることができた。また、準備組合が行う土地区画整理事業の基本設計に基づき、関係機関との協議を行い、事業化検討を推進するとともに、準備組合理事会や地権者懇談会等の開催を支援することで、地権者の事業に対する理解が深まり、本組合設立に向けた合意形成を進めることができた。

[担当：都市計画課] P.335

2501 都市交通政策の推進に関する経費 126,494,610円(115,017,487円)

[その他 3,650,000円 一財 122,844,610円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,650,000円]

○ 目的

コミュニティバスの運行や交通事業者への支援等を通じて、市内公共交通網の維持・整備を図り、市民等の日常の移動手段を確保する。

○ 内容

コミュニティバスについては、1月1日から3日までの3日間を除き、年間を通じて市内7路線を車両7台で運行し、その運行経費と運賃等の差額分を運行事業者に補償した。なお、運賃については、高齢者の外出機会を創出するため、市内在住の70歳以上の方を対象としたシルバー割引(定期券)制度を運用した。

・コミュニティバス運行経費補償金 118,474,000円

令和5年度コミュニティバスルート別利用者数 (単位：人)

運行 日数	中央循環 東ルート	中央循環 西ルート	西部 ルート	北部 ルート	東北部 ルート	東南部 ルート	小堀 ルート	合計
363日	30,271	29,077	12,148	12,643	19,784	27,951	23,992	155,866

令和5年度コミュニティバスシルバー割引(定期券)販売実績

販売枚数	販売収入額
667枚	1,996,600円

民間路線バスについては、取手駅・藤代駅を発着として複数市間を運行する地域間幹線系統3路線の維持を図るため、国・県・沿線市と協調して運行経費の一部を負担しているが、令和5年度は、3路線のうち2路線が、補助要件の一つである「一日当たりの輸送量が15～150人」を満たさなかったため、取手駅西口～谷田部車庫の路線分のみの負担となった。

併せて、市内公共公益施設へのアクセスを確保するため、グリーンスポーツセンターや医師会病院等を経由して取手駅西口と戸頭駅を結ぶ路線に対し、運行経費の一部を補助した。

路線バス運行事業負担金

- ・取手駅西口～谷田部車庫 535,150円
- ・藤代駅北口～自由ヶ丘団地 0円
- ・取手駅東口～竜ヶ崎駅 0円

路線バス運行事業補助金

- 「取手駅西口～戸頭駅」 7,300,000円

令和5年度「取手駅西口～戸頭駅」補助路線バス利用者数

運行日数	合計
363日	22,728人

○ 効果

コミュニティバスの運行により、公共公益施設や中心市街地へのアクセスを確保し、市民の生活利便性の向上を図るとともに、高齢者等の交通弱者の移動手段を確保することができた。

また、民間路線バスに対する支援を行うことで、市民の公共公益施設等へのアクセス及び広域的・幹線的な交通手段を確保することができた。

[担当：都市計画課] P.337

2503 物価高騰に伴う交通事業者支援事業に関する経費 20,000,000円
(20,000,000円)

[国・県 20,000,000円]

* 特財内訳

[国補：電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金 20,000,000円]

○ 目的

燃料価格等の物価高騰の影響を受けている市内交通事業者に対して、将来にわたる地域公共交通等の安定的な運行及び市民生活に必要な移動手段維持のため補助を行う。

○ 内容

取手市物価高騰対策地域公共交通等支援事業補助金 20,000,000円

- ・路線バス事業者 1,000,000円×10路線 = 10,000,000円
- ・貸切バス事業者 1,000,000円×2事業者 = 2,000,000円
- ・タクシー事業者 1,000,000円×7事業者 = 7,000,000円
- ・鉄道事業者 1,000,000円×1事業者 = 1,000,000円

○ 効果

物価高騰の影響を受ける交通事業者に対し、運行を維持・確保するための支援を行うことができた。

[担当：都市計画課] P.337

2601 交通バリアフリー推進に要する経費 266,053,000円 (90,723,000円)
 〈24,690,000円〉 ※ 〈 〉 は、うち4年度繰越分
 [地方債 252,700,000円 〈23,500,000円〉 その他 12,966,000円 〈1,190,000円〉
 一財 387,000円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 241,363,000円×95%≒229,200,000円]

[市債：合併特例債 (24,690,000円×95%≒23,500,000円)]

[繰入金：地域福祉基金繰入金 11,776,000円]

[繰越金：前年度繰越金 (1,190,000円)]

○ 目的

JR 取手駅利用者の利便性の向上や高齢者・障害者等の移動の円滑化を図るため、取手市公共交通バリアフリー化設備整備費補助金交付要綱に基づき、JR 取手駅構内のバリアフリー化設備の整備に係る費用について、事業者に対し補助を行う。

○ 内容

JR 東日本が実施する取手駅東口バリアフリー化推進事業のうち、取手駅東口構内エレベーター整備事業については、令和5年度は令和4年度に続き新設エレベーター2基の内、残りの1基が完成した。また、取手駅構内ホームドア整備事業については、常磐線各駅停車1・2番線へのホームドア整備が完了し、それぞれ補助対象経費の3分の1を限度額として補助金を交付した。

公共交通バリアフリー化設備整備費補助金

- ・取手駅東口構内エレベーター整備事業 477,096,590円×1/3≒159,032,000円
- ・取手駅構内ホームドア整備事業 321,063,300円×1/3≒107,021,000円

○ 効果

取手駅東口改札からすべてのホームへのバリアフリールートが確保されたことにより、高齢者や障害者等、駅利用者の利便性と安全性が向上した。

3 都市計画費 2 建築指導費

[担当：建築指導課] P.339

2101 木造住宅耐震事業に要する経費 1,343,200円 (2,412,500円)

[国・県 1,001,000円 一財 342,200円]

* 特財内訳

[国補：社会資本整備総合交付金 (住宅・建築物安全ストック形成分) 671,000円]

[県補：木造住宅耐震化支援事業費補助金 330,000円]

○ 目的

木造住宅の耐震診断を実施することで、安全性に関する知識の普及・向上を図る。また、耐震改修等に対して補助をすることにより改修を促進させ、今後予想される地震災害から市民の生命、財産を守る。

○ 内容

木造住宅耐震診断・木造住宅耐震補強に対する補助の件数及び金額一覧

() は前年度数値

名称	件数	金額
木造住宅耐震診断	4件 (5件)	343,200円 (412,500円)

木造住宅耐震補強補助	1 件 (2 件)	1, 000, 000 円 (2, 000, 000 円)
合計	5 件 (7 件)	1, 343, 200 円 (2, 412, 500 円)

○ 効果

木造住宅の耐震診断結果により、所有者が建築物の耐震性を認識し、耐震補強等へ意識を高めることにより、地震災害に強いまちづくりに寄与することができた。

[担当：建築指導課] P. 339

2301 大規模建築物等耐震化支援事業に要する経費 4, 906, 000 円

[国・県 4, 088, 000 円 一財 818, 000 円]

* 特財内訳

[国補：社会資本整備総合交付金（地域防災拠点建築物整備緊急促進事業分）
2, 453, 000 円]

[県補：大規模建築物等耐震化支援事業補助金 1, 635, 000 円]

○ 目的

広域の緊急輸送道路(直轄国道等)の沿線の大規模建築物等の地震による倒壊に伴い、通行障害が発生することを防ぐため、その沿線の耐震性が不十分な大規模建築物等の耐震化を促進する。

○ 内容

令和4年3月に茨城県耐震改修促進計画が改定され、新たに耐震診断義務付けの対象となる道路が位置付けられたため、その沿線の対象建築物の所有者が耐震診断を行う際の一部費用を補助した。

- ・耐震診断補助金交付額 4, 906, 000 円
- ・補助件数 1 件

○ 効果

対象建築物所有者が建築物の耐震性を認識し、耐震補強等へ意識を高めることにより、地震災害に強いまちづくりに寄与することができた。

3 都市計画費 3 地籍調査費

[担当：管理課] P. 341

2001 地籍調査事業に要する経費 22, 524, 963 円 (18, 152, 510 円)

〈21, 505, 142 円〉※ 〈 〉 は、うち4年度繰越分

[国・県 16, 323, 000 円 〈15, 750, 000 円〉 その他 〈5, 755, 142 円〉 一財 446, 821 円]

* 特財内訳

[県負：地籍調査費負担金 764, 000 円×3/4=573, 000 円]

[県負：地籍調査費負担金 〈21, 000, 000 円×3/4=15, 750, 000 円〉]

[繰越金：前年度繰越金 〈5, 755, 142 円〉]

○ 目的

国土調査法に基づき、地籍の明確化を図るために一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界、地積に関する測量を行い、その結果に基づき地図及び簿冊を作成する事業である。これらの成果は、法務局に送付され登記内容が改められることを始め、個人の土地取引、公共事業、固定資産税の課税など、およそ土地に関する行為のための基礎資料となり、様々な分野で活用されることとなる。

○ 内容

委託料

白山Ⅲ地区において、地籍図原図の作成及び、地積測定を実施した。

白山Ⅲ地区地籍調査測量委託料 660,000 円

(白山Ⅲ地区概要)

実施区域 白山三丁目、白山四丁目及び白山六丁目の各一部

実施面積 0.13 km² (13 ha)

調査筆数 743 筆

白山Ⅳ本郷Ⅰ地区において、調査図素図の作成及び、地籍測量や現地調査を実施した。

白山Ⅳ本郷Ⅰ調査図素図作成・調査測量委託料 <18,513,000 円>

(白山Ⅳ本郷Ⅰ地区概要)

実施区域 白山五丁目、本郷一丁目の各一部

実施面積 0.18 km² (18 ha)

調査筆数 854 筆

使用料及び賃借料

地籍調査の事務処理、図面作成、今後の利活用及び成果の維持管理を行うために、平成5年度より導入している地籍調査支援システムを活用し、事業を進めた。

地籍調査支援システム使用料 <1,914,000 円>

○ 効果

一筆ごとの土地について、現地調査を行い、境界が明確化されたことで境界紛争の防止に役立った。また、地籍調査の成果（地図及び簿冊）の閲覧を行ったことで、地権者が所有する土地の地番、地目、境界及び地積に関する情報を把握することができた。

地籍測量を実施したことで境界点等を座標値データとして保管できたため、震災等の自然災害が発生し、土地の位置や形状が不明となった場合においても、正確に境界を復元できるようになった。

3 都市計画費 4 街路事業費

[担当：道路建設課] P.345

2201 都市計画道路3・5・23号北敷・沼附線に要する経費

19,156,220円(35,054,152円)

〈19,112,220円〉※〈〉は、うち4年度繰越分

[国・県〈10,506,017円〉 地方債〈8,100,000円〉

その他〈506,203円〉 一財44,000円]

* 特財内訳

[国補：防災・安全交付金〈 $19,111,720円 \times 55\% \approx 10,506,017円$ 〉]

[市債：合併特例債〈 $(19,111,720円 - 10,506,017円) \times 95\% \approx 8,100,000円$ 〉]

[繰越金：前年度繰越金〈506,203円〉]

○ 目的

本路線は、近隣から北浦川緑地へのアクセス道路として位置づけられており、北浦川緑地の整備事業（県事業）と一体的に整備を進めている路線である。

○ 内容

印紙代 500円

不動産鑑定料 44,000円

測量設計委託料 4,873,000円

軟弱地盤対策実施設計委託料 12,430,000円

公有財産購入費 511,951円

物件移転補償費 1,296,769円

○ 効果

軟弱地盤解析業務委託等を実施し、工事発注のために必要な資料を得ることができた。

3 都市計画費 5 都市排水費

[担当：排水対策課] P.349

27 都市排水整備に要する経費 109,126,000円(81,069,000円)

〈47,196,000円〉※〈〉は、うち4年度繰越分

[地方債 89,600,000円〈44,800,000円〉 その他〈2,396,000円〉

一財 17,130,000円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 44,033,000円 $\times 95\% \approx 41,800,000円$]

[市債：都市排水路整備事業債 4,048,000円 $\times 75\% \approx 3,000,000円$]

[市債：合併特例債〈 $47,196,000円 \times 95\% \approx 44,800,000円$ 〉]

[繰越金：前年度繰越金〈2,396,000円〉]

○ 目的

雨水排水を整備することで、家屋への浸水被害や道路冠水を緩和し、居住環境の改善を図る。

○ 内容

雨水浸水被害を緩和するために、令和5年度は前年度からの繰越含め3事業を実施した。各事業内容は次のとおりである。

(単位：円)

事業名	事業費	事業内容
2720 稲雨水幹線	91,229,000 〈47,196,000〉	改良工事 91,229,000 〈47,196,000〉 工事延長 L≒957m 〈工事延長 L≒271m〉
2756 藤代地区雨水排水	4,147,000	実施設計 4,048,000 委託に伴う調査 99,000
2774 下高井水砂雨水排水	13,750,000	基本設計 13,750,000 A=54 ha

○ 効果

今回の事業により、降雨による浸水及び道路冠水が緩和され、雨水排水の改善を図ることができた。また、都市排水施設としての機能を発揮した。

3 都市計画費 6 公共下水道事業費

[担当：排水対策課] P.351

2001 取手地方広域下水道組合負担金 1,640,000,000円 (1,610,000,000円)

[一財 1,640,000,000円]

○ 目的

生活汚水の排除処理及びトイレの水洗化による住環境の改善や公共水域の水質保全を図る。また、公共下水道施設整備を実施し下水道(汚水)供用開始区域の拡大を図る。

○ 内容

負担金

雨水処理に要する経費に対する負担金

分流式下水道に要する経費等に対する補助金

企業債の元金償還等に対する補助金

出資金

下水道施設の建設改良費に対する出資金

○ 効果

公共下水道供用開始区域(A=約17ha)の拡大が図られた。

3 都市計画費 7 公園緑地費

[担当：水とみどりの課] P. 353

2101 緑地等管理に要する経費 14,999,137 円 (71,172,157 円)

[その他 10,640,000 円 一財 4,359,137 円]

* 特財内訳

[繰入金：森林環境譲与税基金繰入金 10,640,000 円]

○ 目的

市内の緑地を適切に維持管理することで、緑を保全するとともに、自然と調和した住環境を提供する。

○ 内容

市で管理している緑地の草刈や、樹木の剪定・伐採などを行った。また、あけぼの市民緑地及び山の坊市民緑地並びに大山緑地でナラ枯れが発生したため、対象樹木の消毒及び枯れた樹木の伐採処分等を行った。

緑地整備実施設計委託料については、大山緑地の法尻が民地コンクリート壁に接している箇所があり、今後、民地コンクリート壁が解体される予定であることから、擁壁を築造して法面崩壊を防ぐための測量及び設計を行った。

委託料

・新取手地区緑地管理業務委託料 (除草)	1,507,000 円
・あけぼの市民緑地管理委託料 (清掃・除草)	552,937 円
・山の坊市民緑地管理委託料 (清掃・除草)	379,500 円
・岡堰水辺プラザ草刈委託料 (除草)	4,037,000 円
・樹木病虫害被害対応業務委託料 (消毒 44 本 伐採等 21 本)	4,643,000 円
・緑地整備実施設計委託料 (測量・設計)	3,879,700 円

○ 効果

市で管理している緑地を保全し、適正に管理することができた。

[担当：水とみどりの課] P. 355

2701 公園維持管理に要する経費 184,528,859 円 (193,309,432 円)

[国・県 27,000,000 円 地方債 24,300,000 円

その他 66,831,925 円 一財 66,396,934 円]

＊ 特財内訳

[国補：社会資本整備総合交付金（公園施設長寿命化対策支援事業分）

54,000,000円×50%=27,000,000円]

[市債：都市公園整備事業債

(54,000,000円－27,000,000円)×90%=24,300,000円]

[使用料：公園施設使用料 6,979,520円]

[使用料：公園施設占用料 431,936円]

[使用料：公園敷地使用料 18,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 6,211,000円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 49,060,000円]

[繰入金：森林環境譲与税基金繰入金 1,199,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 108,817円]

[諸収入：物品売払収入 1,380,000円]

[諸収入：資源物売却代 153,246円]

[諸収入：自動販売機売上配分金 1,143,321円]

[諸収入：自動販売機電気料 147,085円]

○ 目的

公園の樹木や芝生、スポーツ施設、トイレ、駐車場や遊具などを適切に維持管理を行うとともに、公園施設の安全点検を実施し、利用者に良好な公園環境を提供する。

○ 内容

公園内の樹木の剪定、除草、遊具の定期点検、浄化槽の清掃点検、駐車場の施錠、トイレ清掃及び公園施設の修繕を実施した。(公園数 221 公園)

また、公園内でナラ枯れが発生したため、対象樹木の消毒及び枯れた樹木の伐採処分等を行った。

委託料

・公園内樹木伐採委託料 (高井城址公園他 1 公園)	1,342,000 円
・公園管理委託料 (主な内訳)	73,786,794 円
取手緑地運動公園 (排水路の法面・擬木周りの除草、中低木の刈込)	9,438,000 円
高井城址公園他 35 公園 (芝刈り・除草・中低木の刈込)	7,260,000 円
相野谷親水公園他 14 公園 (除草・中低木の刈込)	7,315,000 円

とがしら公園、宮ノ前ふれあい公園 (園庭及び側溝の清掃・芝刈り・樹木剪定)	6,994,019 円
公園美化業務 (除草 79 公園)	6,352,252 円
公園管理及びトイレ清掃業務 (12 公園 トイレの清掃・駐車場及び運動施設の鍵開閉・巡回等)	8,012,148 円
ゆめみ野公園他 4 公園管理業務 (芝刈り・除草清掃等)	4,499,000 円
小貝川リバーサイドパーク (芝刈り・除草・花壇管理)	5,830,000 円
中内大塚線緑道他 5 箇所 (除草・刈込)	6,985,000 円
自治会公園管理業務 (自治会等 8 団体 37 公園 除草・清掃・巡回等)	5,621,075 円
公園遊具定期点検 (154 公園 456 施設)	2,156,000 円
・樹木病虫害被害対応業務委託料 (消毒 18 本 伐採等 5 本)	1,308,000 円
・草枝処分委託料 (公園の維持管理で発生した刈草・枝葉等の処分)	5,097,551 円
使用料及び賃借料	
・公園管理用機械借上料 (高所作業車・重機等のリース)	1,041,238 円
・公園敷地借上料 (高井城址公園ほか 6 公園の敷地借上料)	2,286,670 円
工事請負費	
・大塚けやき公園他公園遊具更新工事 (4 公園 遊具 8 基)	18,876,000 円
・大鹿橋公園他公園遊具更新工事 (3 公園 遊具 7 基)	18,425,000 円
・新町 6 丁目公園他公園遊具更新工事 (6 公園 遊具 12 基)	17,050,000 円

○ 効果

公園施設の維持管理及び修繕を行った結果、利用者に良好な公園環境を提供できた。

[担当：水とみどりの課] P. 357

3301 水辺利用推進に要する経費 2,386,109 円 (2,851,826 円)

[一財 2,386,109 円]

○ 目的

利根川及び小貝川河川敷の水辺を広く市民が利用できるようイベント等を開催し、市民に河川についての理解を深めてもらい、水辺利用の推進を図る。

○ 内容

「とりで利根川河川まつり」の開催及び「レンタサイクル事業」の実施により、利根川及び小貝川の河川空間に親しむ機会を提供するとともに、河川流域の他市との交流を図った。

- ・とりで利根川河川まつり委託料 1,146,304 円
- ・レンタサイクル管理業務委託料 762,394 円

レンタサイクル利用者数

年度	年間利用者数	市内利用者数	市外利用者数
R5	1,221 人	683 人	538 人
R4	1,291 人	741 人	550 人

○ 効果

イベントの実施や多種多様な自転車の貸出しにより、河川空間のイメージアップに寄与するとともに、市民や来訪者へ河川及び河川敷に親しむ機会を提供できた。

【担当：水とみどりの課】 P. 357

3401 小堀の渡し運航に要する経費 16,775,665 円 (18,529,270 円)

[その他 10,634,100 円 一財 6,141,565 円]

* 特財内訳

[使用料：渡船使用料 414,100 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 10,220,000 円]

○ 目的

小堀の渡しは、小堀地区住民の生活の交通手段だけではなく、利根川に訪れる誰もが利用できる貴重な観光資源である。利根川の景色を楽しみ自然を体感する機会を提供するために運航する。

○ 内容

小堀、取手緑地運動公園駐車場前、取手ふれあい栈橋の3箇所の船着場を循環する航路で小堀地区住民（無料）並びに一般乗客（有料、小学生半額、一部無料）で一日7便（毎週水曜日及び年末年始は運休）運航した。

委託料

- ・小堀の渡し運航業務委託料 14,806,000 円

年間利用人数

年度	年間利用者数	利用者数（大人）	利用者数（小人）
R5	3,436 人	2,219 人	1,217 人
R4	4,033 人	2,838 人	1,195 人

○ 効果

来訪者の誰もが利用できる小堀の渡しを運航することで、市の地域資源である利根川の水辺空間活用に寄与することができた。

[担当：水とみどりの課] P. 357

3501 舟運交流推進に要する経費 118,900 円（110,000 円）

[一財 118,900 円]

○ 目的

利根川下流域 19 市町村により、「利根川舟運・地域づくり協議会」を組織し、舟運を通じて水面・空間の利用促進、沿川の交流・連携を行う「利根川舟運による地域活性化事業」の実施により沿江市町村相互の地域活性化を図る。

○ 内容

利根川舟運による地域活性化事業を実施し、観光資源や地域特産品の紹介等による地域の交流・連携を図った。

委託料

・舟運交流推進事業委託料 108,900 円

○ 効果

利根川舟運による地域活性化事業を実施したことにより、観光資源や地域特産品の紹介等による地域の交流・連携を促進することができた。

[担当：水とみどりの課] P. 359

3801 北浦川緑地管理に要する経費 23,657,620 円（22,480,150 円）

[国・県 10,914,000 円 その他 2,505,183 円 一財 10,238,437 円]

* 特財内訳

[県委：北浦川緑地管理委託金 10,914,000 円]

[使用料：公園施設使用料 1,413,500 円]

[使用料：公園敷地使用料 7,200 円]

[諸収入：自動販売機売上配分金 1,005,685 円]

[諸収入：自動販売機電気料 78,798 円]

○ 目的

北浦川緑地を適正に維持管理し、利用者に良好な公園環境を提供する。

○ 内容

公園内の樹木の剪定・草刈り・清掃等を実施した。

委託料

- ・北浦川緑地清掃及び巡視点検業務委託料 3,627,800 円
(駐車場門扉開閉・トイレ清掃・巡視点検)
- ・北浦川緑地植栽管理業務委託料 17,655,000 円
(除草・芝刈り・刈込)
- ・北浦川緑地浄化槽保守点検及び清掃業務委託料 431,400 円
(浄化槽清掃・法定点検)
- ・北浦川緑地遊具定期点検業務委託料 121,000 円
(遊具 11 基)

○ 効果

緑地内の公園施設を適切に維持管理することにより、利用者に良好な公園環境を提供することができた。

4 住宅費 1 住宅管理費

[担当：管理課] P. 361

2001 市営住宅管理に要する経費 34,725,971 円 (26,269,216 円)

[地方債 9,000,000 円 その他 20,540,900 円 一財 5,185,071 円]

* 特財内訳

[市債：公共施設等除却債 10,010,000 円×90%≒9,000,000 円]

[使用料：住宅使用料 20,540,900 円]

○ 目的

住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃の賃貸住宅を供給することによって、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。

○ 内容

(1) 市営住宅の管理

ア 管理戸数

年度	管理戸数	建設	用途廃止
R5	267 戸	0 戸	4 戸
R4	271 戸	0 戸	1 戸

イ 運用状況

年度	管理戸数	利用戸数	空家戸数	政策空家戸数
R5	267 戸	149 戸	12 戸	106 戸
R4	271 戸	153 戸	12 戸	106 戸

ウ 入居者募集状況

年度	募集戸数	応募者数	入居戸数	未入居戸数
R5	0戸	0人	0戸	0戸
R4	2戸	1人	0戸	2戸

エ 入退居件数

年度	入居（うち公募外）	退居
R5	2件（2件）	6件
R4	1件（1件）	16件

(2) 市営住宅修繕 1,899,130円

小規模修繕（入居募集、床・風呂釜・浴槽等）

(3) 業務委託

駒場住宅高架水槽清掃委託 157,575円

市営住宅空地等草刈業務委託 1,039,500円

汚水雨水管清掃委託料 126,500円

市営住宅敷地測量業務委託 3,707,000円

特殊清掃業務委託 382,250円

(4) 使用料及び賃借料

市営住宅敷地借上料 15,526,247円

業務端末機使用料 104,500円

(5) 工事請負費

駒場住宅改修工事 1,298,000円

南住宅解体工事 10,010,000円

(6) その他（消耗品・通信運搬費・火災保険料等）

475,269円

(7) 市営住宅使用料収入状況

区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
現年度分	20,703,300円	20,540,900円	—	162,400円
滞納繰越分	10,807,554円	715,200円	0円	10,092,354円

○ 効果

市営住宅の政策空家を計画的に取り壊し用途廃止を行った。また、建物検査での指摘事項に対し修繕を行ったことで、適正な維持管理に努めた。併せて、草刈りや排水設備の清掃等を行い、住宅施設の整備改善を実施したことで、居住者の住環境の向上が図られた。

【担当：都市計画課】 P.363

2301 定住化促進住宅政策に要する経費 24,347,730円（31,736,020円）

〔国・県 10,953,000円 一財 13,394,730円〕

＊ 特財内訳

[国補：社会資本整備総合交付金（地域住宅交付金分）10,953,000円]

○ 目的

急速に進展する少子高齢化に対し、まちの活力を創出し、持続可能なまちづくりを進めるため、子育て世代等の市内定住化を促進し、併せて魅力ある住環境の整備を図る。

○ 内容

良質な新築住宅の取得に対する補助、中古住宅のリノベーションに対する補助を行った。併せて周知活動として、住宅展示場のハウスメーカーや都内ふるさと回帰支援センター等にパンフレットを配置し、更なる補助の利用促進を図った。

定住化促進住宅補助金交付額 24,342,000円

認定申請件数

- | | |
|-----------------------|-----|
| ・住宅取得補助 | 37件 |
| ・住宅リノベーション補助 | 22件 |
| ・シニア層の持家活用による住み替え支援補助 | 0件 |

○ 効果

住宅取得補助については、補助制度利用者の多くが市外からの転入者又は市内の賃貸物件からの転居者であり、市内定住化の促進が図られた。併せて、長期優良住宅の認定取得や敷地内緑化を補助要件とすることで、住環境の向上が図られた。

住宅リノベーション補助については、中古住宅を取得し自らの居住のためにリノベーションする費用に対して補助を行うことで、市内定住化促進と中古住宅の利活用促進が図られた。

なお、住宅取得補助と住宅リノベーション補助のいずれにおいても、子育て世帯に対する補助の加算を設けることで、若年層の定住化促進にも効果を得ることができた。